

平成10（1998）年度

# 福岡市埋蔵文化財センター一年報

第18号



2000

福岡市教育委員会

※表紙写真は、有田遺跡群第80次調査出土の龍泉窯系鎬蓮弁文青磁碗。

# 序

福岡市は、古来より大陸文化流入の門戸として、これまで歴史的な発展を続けてまいりました。

このため、市域には各時代にわたる大規模な遺跡が数多く残されており、近年の都市膨張に伴う各種開発で多くの緊急調査が行われた結果、多量の出土品及び写真・図面類などの記録類が現出しました。教育委員会では、これらの資料が散逸することなく保存され、市域の歴史を紐解く資料として広く市民の方々に活用していただく施設として埋蔵文化財センターを設立しました。

ところで、当センターは、昭和57年2月の開館から15年を経過し、爆発的に増加している発掘資料の収容能力も限界に達したために、平成9～10年度に収蔵施設・保存処理施設を中心とした増築・改造工事を行いました。

この結果、埋蔵文化財センターは、延べ床面積10,713.60㎡を測る日本有数の規模となりました。

施設は、特に木器保存処理のための大型PEG含浸装置・真空凍結乾燥機を導入したのをはじめ、金属器類処理の事前調査に使用するX線透過撮影装置・蛍光X線分析装置などの光学機器が増強されました。

また、展示室も3室にふえ、福岡市の歴史的特徴をとりあげたテーマ展示となっています。

つきましては、新装になりました埋蔵文化財センターを市民の皆様方が十分に活用され、市域の悠久な歴史を知るための一助となりますよう希望いたします。

平成11年12月28日

福岡市教育委員会 教育長 西 憲一郎

## 目 次

－序－

I 平成10(1998)年度の活動	P
1. 資料の収蔵・整理	2～3
(1) 収蔵方針	
(2) 平成10(1998)年度の本収蔵作業	
2. 保存処理	4～7
1) 遺物の保存処理 2) 施設外での保存処理作業	
3) その他の作業 付) 雀居遺跡の出土遺物について	
3. 教育普及活動	8～13
1) 展 示 2) 講座・展示会 3) 資料の提供 4) 図書の閲覧	
5) 刊行物 6) 博物館実習 7) 図書関係	
II 埋蔵文化財センターの概要	14～15
III 施設の増築・改造工事概要	16～20

## 例 言

1. 本書は平成10(1998)年度の福岡市埋蔵文化財センターの業務年報である。
2. 本書の原稿作成は、資料の収蔵・整理を横山邦継、遺物保存処理を比佐陽一郎、教育普及活動を加藤良彦が担当した。
3. 本書の編集は、当センター所長 折尾 学が行った。

# I 平成10(1998)年度の活動

## 1. 資料の収蔵・整理

### (1) 収蔵方針

昭和44(1969)年文化課発足以来、市内における緊急調査や史跡整備に伴う確認調査などで得られた出土遺物や記録写真・遺構図面類は、毎年膨大な数量に及んでいるが、これらの膨大な資料の散逸を防ぎ、本収蔵・管理するための施設として、福岡市埋蔵文化財センター(以下「センター」と呼ぶ)が建設された。

さて、このように発掘調査され、調査報告書の刊行された遺跡についての考古学的遺物や記録類は速やかに一般公開され、広く市民や研究者などに活用されてこそ、文化財保護法の基本理念である国民共有の財産としてその価値があるものと考えられる。

このような見知から、センターと調査事業担当課(文化財部埋蔵文化財課・文化財整備課)ではこのような考古学的資料の多用な活用が可能となることを目的として、昭和60(1985)年に『埋蔵文化財資料の収蔵整理要項』(「福岡市埋蔵文化財センター年報」第5号所収。以下「収蔵要項」と呼ぶ。)を策定した。この収蔵要項は、後に細部の改変を加え、実状に合った要項となっている。そして策定後から現在にわたって調査事業担当課・センターともにこの収蔵要項に沿った発掘調査・整理作業が進められ、センターへの円滑な本収蔵作業が図られている。

### (2) 平成10(1998)年度の本収蔵作業

センターに本収蔵される考古学資料には、調査担当課などによって整理作業が終了したものとセンターに仮収蔵されている資料について整理作業を行い、本収蔵したものとに区別される。

平成10年度の本収蔵作業は、施設の増築・改造工事の施工のため本格的収蔵が不能な状況であったため、Tab.1のように年度当初に2遺跡を本収蔵したにとどまった。

今年度までにセンターに本収蔵された遺跡の総数は、706遺跡となる。その内訳は、登録遺物件数375,205点、収蔵コンテナ数43,411箱(ソートキャビネット数を含む)、甕棺1,048個(註1)で、これにスライド200,546点 ネガフィルム187,954点 図面類75,826点、写真カード184,523点などの記録類である。

また、平成10年度までに刊行された市埋蔵文化財調査報告書は、620冊であるが、当年度に検索が可能となったのは2遺跡であり、既刊報告書のうち約5割が検索可能となった。

さらに、平成10年度までの市内における発掘調査は1,452件であるが、これらのうち約5割にあたる706遺跡がセンターに本収蔵された。

(註1) 大型甕棺は、コンテナに換算すると12箱分に相当する。

Tab.1 平成10(1998)年度本収蔵一覧

番号	調査番号	摘要	報告書	遺跡名	担当者	登録遺物 点数	甕棺数	コンテナ 数	モノクロフィルム			カラーズライド			原図		カード		木 製品	金属 製品	収蔵番号 (収蔵年月日)
									35mm	6×7	4×5	35mm	6×7	4×5	遺構	遺物	遺物	写真			
98001	8308	埋文本収	547	有田遺跡群第80次	井澤洋一	338	0	11	20	115	0	359	58	0	52	18	0	82	0	0	980507
98002	9312	埋文本収	577	東入部遺跡群第7次	浜石、榎本	1,036	0	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	980527
				2遺跡		1,374	0	52	20	115	0	359	58	0	52	18	0	82	0	32	

Tab.2 本収蔵一覧(1982～1998年度)

年度	遺跡数	登録遺物	甕棺	収蔵コンテナ	ソート キャビネット	モノクロ写真	カラー写真	実測 図	カード類	木製品	金属 製品
1982(S57)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
1983(S58)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
1984(S59)	4	0	0	0	0	0	0	0	0		
1985(S60)	8	0	0	0	0	0	0	0	0		
1986(S61)	18	8,054	0	1,055	7	3,580	5,410	1,636	0		
1987(S62)	24	13,664	0	1,574	71	10,133	4,558	3,350	0		
1988(S63)	44	25,780	113	1,906	112	14,601	12,251	5,731	0		
1989(H1)	14	20,946	0	1,804	32	11,559	8,878	3,019	16,033		
1990(H2)	90	53,222	17	2,950	2	23,141	25,572	8,101	35,701		
1991(H3)	63	30,640	256	3,302	0	15,099	12,825	6,321	23,627		
1992(H4)	93	41,244	137	4,694	24	16,602	18,542	7,998	23,151		
1993(H5)	60	34,824	59	5,542	61	17,835	16,700	6,039	23,728		
1994(H6)	51	24,665	121	2,819	5	10,546	12,097	4,842	14,314		
1995(H7)	70	42,708	47	5,321	4	16,692	15,782	6,470	22,727		
1996(H8)	68	38,642	272	4,154	0	14,860	18,291	8,137	13,328		
1997(H9)	97	39,442	26	8,238	0	32,901	49,223	14,112	11,822		
1998(H10)	2	1,374	0	52	0	135	417	70	82		
計	706	375,205	1,048	43,411	318	187,954	200,546	75,826	184,513		



Pho.1 一般収蔵庫収蔵状況

## 2. 保 存 処 理

### 1) 遺物の保存処理

当センターでは例年、自前の装置による木製品・金属製品の保存処理を行っている。ところが施設の増築・改造事業2年目にあたる今年度は、6月に保存処理施設の移転に伴う既存施設の解体工事があり、処理装置類が機能しないこととなった。しかし保存処理の必要な遺物は後を絶たず、少しでも処理を進めるために、外部委託による保存処理を実施した。委託先は処理遺物の内容や、これまでの実績等を検討し、奈良市の(財)元興寺文化財研究所を選定した。

#### 1) - 1. 有機質遺物 (木製品)

有機質遺物は博多区雀居遺跡4次調査出土品等、弥生時代の漆製品を中心に緊急性の高いもの22点を選定、内容は別表の通りである (Tab.3)。なお、比恵33次調査出土品2点・拾六町平田2次調査出土品1点・四箇2次A地点出土品1点を除く18点は、国庫補助事業により行ったものである。

漆製品の保存処理は生地(木胎)と漆塗膜の性質が根本的に異り、一步誤ると塗膜が生地からめくれ上がってしまうなどのトラブルが発生するため、非常に技術を要する。しかし今回は特に大きな問題もなく、全点無事に処理が終了した。処理後の資料は埋蔵文化財センター特別収蔵庫に保管されている。

処理方法については、処理遺物の種類・状態等に応じて適宜選択されている。それぞれの内容は、表に示すとおりである。

#### 1) - 2. 無機質遺物 (金属製品)

金属製品は、急激な腐食の進行が予測される資料2点を厳選した (Tab.3)。本資料は2点ともに内部に鉄器本来のメタル分が錆に変化せずに遺存しており、今後も予断を許さない状況と思われることから、展示や調査による見学時以外はRPシステム (=商品名:脱酸素・脱水剤を資料とともに特殊なバリア袋に封入することで、袋の中を無酸素・無水状態に保つシステム) によるパックを施して保管している。

### 2) 施設外での保存処理作業

はじめにも記したとおり、今年度は増築工事によりセンターとしての保存処理はほとんど機能しない状態であった。しかし、発掘調査は止まることなく行われ、保存処理の必要な遺物や遺構の出土は続いており、発掘現場での作業は例年通り行った (Tab.4)。

### 3) その他の作業

保存処理作業以外では、施設の移転に伴う資料・物品の移動が主な業務となった。特にその中でも仮保管水槽に水漬けされている木製品が大きな問題であった。計画では仮保管水槽が電気室に改造され、その代替品が新規施設に新設されることから内容物の移動が必要となったが、既存水槽の解体から新規水槽の完成まで半年程度時間があるため、その間の仮水槽が必要となり、木枠にブルーシートを張ったもので対応した。しかも旧水槽から仮水槽、仮水槽から新規水槽と、2回の移動行程を踏むこととなり、3mを越えるような建築材や大型の削り抜き井戸枠材など、含水率数百%にも及ぶこれら多数の大型資料の移動には相当な労力を要した。これには保存処理担当だけでは対応できず、センター全職員・臨時職員等、様々な方々の協力を頂いたことを付記し、携わった全ての方々に感謝したい。

その他には、平成11年4月のリニューアルオープンに向けての施設整備や、必要な備品の購入などを行った。

新規保存処理施設は、大型の処理装置や様々な事前調査用分析装置を有した全国屈指の施設とすることができたが、この内容については後に別途触れることとする。

#### 付) 雀居遺跡出土遺物について

今回保存処理が行われた雀居遺跡出土の有機質遺物については、既刊の発掘調査報告書（下村1995・松村1995）において若干触れられているものの、詳細は記されていない。この機会にこの場を借りて資料の一部ではあるが、実測図を掲載し、より一層の活用を促すものである。

なお資料の実測は、当時の発掘調査担当者一人で現別府大学助教授下村智氏と、埋蔵文化財センターの比佐が行った。また遺跡・遺構の詳細については発掘調査報告書（前出）を参照いただきたい。

下村智編1995『雀居遺跡2』福岡市埋蔵文化財調査報告書第406集 福岡市教育委員会  
松村道博編1995『雀居遺跡3』福岡市埋蔵文化財調査報告書第407集 福岡市教育委員会

Tab.3 遺物の保存処理一覧表

遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig	処理方法	遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig	処理方法
四箇2次A地点（7516：市報172集）						60033	漆塗り容器蓋(完形品)	木・漆	弥生後期	巻頭PL2-8	脂肪酸エステル含浸法
3035	木刀状漆器	木・漆	縄文後期	91-35	アクリル樹脂塗布法	60034	漆塗り容器蓋(破損品)	木・漆	弥生後期	巻頭PL2-9	脂肪酸エステル含浸法
今宿五郎江2次（8407：市報238集）						60340	籐状木製品	木	弥生前期～後期		脂肪酸エステル含浸法
30210	漆塗り弓?	木・漆	弥生中期後半	117	真空凍結乾燥法	60385	把手(漆有り)	木・漆	縄文晩期		脂肪酸エステル含浸法
四箇24次（8952：市報261集）						60408	黒漆弓	木・漆	弥生?		脂肪酸エステル含浸法
39	漆塗り匙	木・漆	縄文晩期	25-39	真空凍結乾燥法	今宿五郎江4次（9253：市報479集）					
拾六町平田2次（9011：市報349集）						4007	細線文漆器?	木・漆	弥生中期頃～後期前半		PEG含浸法
2001	脚付杯	木・漆	弥生前期後半	22-144	真空凍結乾燥法	雀居5次（9317：市報407集）					
比恵33次（9039：未報告）						30124	漆器碗	木・漆	弥生?		真空凍結乾燥法
処13537	椰子の実	種子			脂肪酸エステル含浸法	那珂君休7次（9612：市報587集）					
処13538	剃抜容器（箱）	木			PEG含浸法	処13542	盾	木・漆?	古墳前期		7カ-6・キル・樹脂法
雀居4次（9241：市報406集）						石ヶ元古墳群（9656：未報告）					
60026	漆塗り弓	木・漆	弥生前期後半	巻頭PL2-1	脂肪酸エステル含浸法	処13544	鉗	鉄	古墳後期		外-2が・脱塩・樹脂含浸
60027	漆塗り弓	木・漆	縄文晩期	巻頭PL2-2	脂肪酸エステル含浸法	処13545	金床	鉄	古墳後期		外-2が・脱塩・樹脂含浸
60028	漆塗り弓	木・漆	縄文晩期	巻頭PL2-3	脂肪酸エステル含浸法	処13546	板状鉄器（素材?）※	鉄	古墳後期		外-2が・脱塩・樹脂含浸
60029	漆塗り把頭飾盤部	木・漆	弥生前期～後期	巻頭PL2-4	脂肪酸エステル含浸法	※鉗に錆着していたものを分離					
60030	漆塗り容器破片?	木・漆	縄文晩期	巻頭PL2-5	脂肪酸エステル含浸法	雀居12次（9715：未報告）					
60031	漆塗り弓	木・漆	弥生前期～後期	巻頭PL2-6	脂肪酸エステル含浸法	処13543	不明漆器	木・漆	弥生前期後半		PEG含浸法
60032	漆塗り容器?	木・漆	弥生後期	巻頭PL2-7	アクリル樹脂塗布法						

Tab.4 施設外での保存処理作業一覧表

	調査名	調査No	所在地	時代	遺構等	遺物内容	作業内容	作業開始	作業終了	備考
1	市外 三郎丸堂ノ上C		宗像市	古墳後期	須恵器窯	生焼け須恵器	遺物強化処置	19980403	19980403	宗像市教育委員会より招聘
2	羽根戸南古墳群	9744	西区羽根戸	古墳後期	古墳(E-11/12号墳)	短甲部材等	強化・取り上げ	19980521	19980521	
3	羽根戸南古墳群	9744	西区羽根戸	古墳前期	古墳(G-3号墳)	鏡片	強化・取り上げ	19980618	19980618	
4	市外 大塚古墳		浮羽郡田主丸町	古墳後期	古墳		土層剥ぎ取り講習会	19980724	19980724	北筑後担当者会保存処理講習会より招聘
5	元寇防塁	9817	西区生の松原	中世		防塁砂層	土層剥ぎ取り	19980818	19980819	
6	(旧奈良屋小学校)		博多区奈良屋	現代	小学校校舎	空襲被害痕跡	樹脂強化処置外部委託に立会	19980701	19980701	
7	(埋文課室見事務所)						木製品仮保管への講習会	19980806	19980806	
8	元岡3次	9764	西区元岡	縄文早期	集石炉		遺構複製	19981022	19981022	
9	下月隈C4次	9828	博多区上月隈	弥生後期中頃		建築材	保管・処理打合わせ	19990226	19990226	
10	博多111次	9836	博多区奈良屋	中世末		金属製燭台	保管・事前調査依頼	19990310	19990310	
11	下月隈C4次	9828	博多区上月隈	弥生後期中頃?		編籠	液体窒素凍結による遺物取り上げ	19990311	19990311	

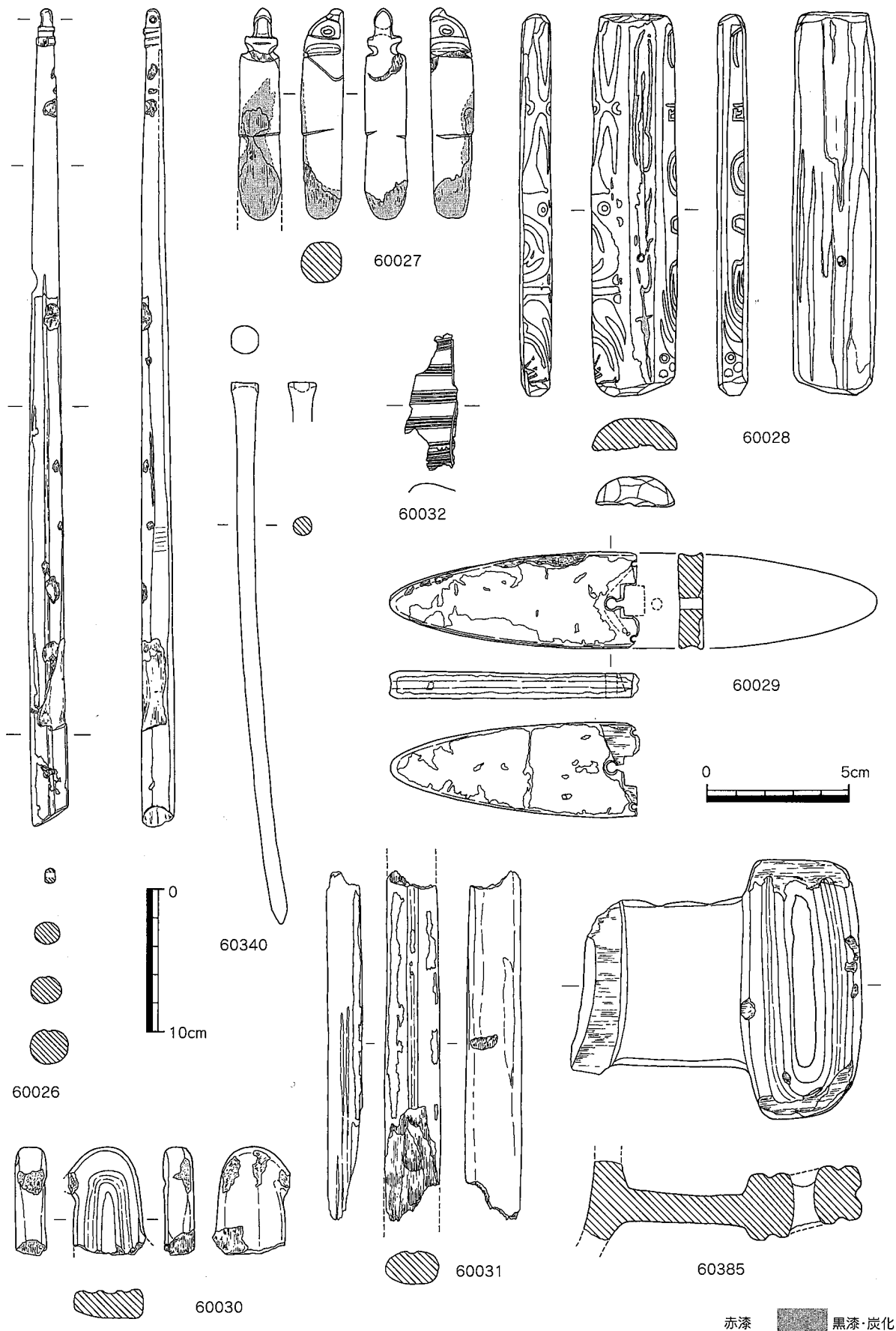
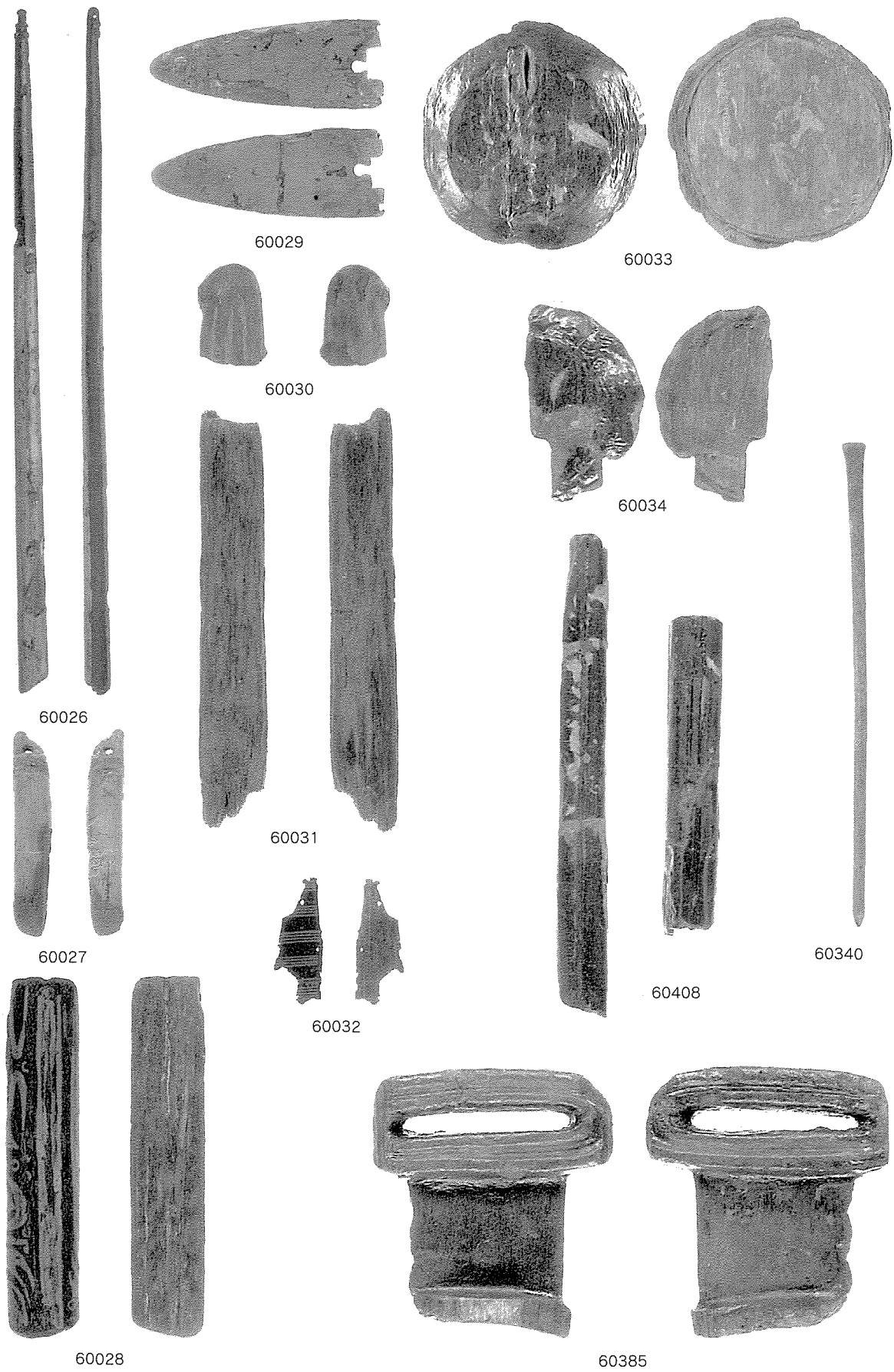


Fig.1 保存処理された木製品(雀居4次)  
 (スケールは60026のみ、他は±)





Pho.2 保存処理された木製品(雀居4次)

### 3. 教育普及活動

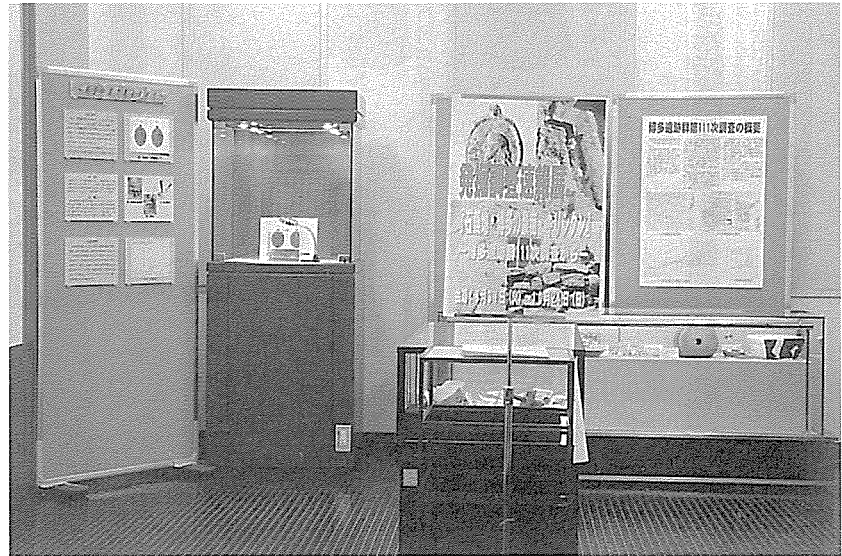
#### (1) 展 示

当センターでは、埋蔵文化財および埋蔵文化財の保存・保護を展示の主テーマとし、市内出土の考古資料を展示し、下記の内容について説明している。

なお、本年度は展示室の改築工事の実施とこれにともなう展示替えのため、第1展示室を9月1日から10月31日、第2展示室を7月1日から翌年3月31日まで閉鎖した。

#### 第1展示室

- 1) 文化財と埋蔵文化財
- 2) 発掘調査
  - ①遺跡を見つける
  - ②発掘調査の順序
- 3) 遺跡と遺物の保存
  - ①遺物の保存処理
  - ②遺跡・遺構の保存
- 4) 埋蔵文化財(考古学)の研究
  - ①年代を決める
  - ②何に使ったか
- 5) 最近の調査から



Pho.3 発掘調査速報展

このコーナーでは、市域内の調査のうち特に成果のあったもの、または話題になっているものを取り上げ、調査内容の速報展示を行っている。

本年度は昨年度に引き続き、1983年吉武遺跡群第4次調査で検出された弥生時代の大型建物の20分の1スケール復元模型完成に関連して、企画展示「弥生時代の大型建物—吉武遺跡の復元模型展—」を実施した。1992年に日本生活文化史学会理事若林弘子氏の手になる同建物の復元図が発表され、これをもとに南北5間東西4間の廻り縁つきの高床建物に復元されている。復原案としては二つの平地式建物跡が重複したものとのものである見解もあり写真・復元イラストパネル等で解説した。他に柱穴内出土の前期末から中期末の弥生土器、同期の建築に用いられた石斧・鉄斧等の道具、雀居遺跡出土の柱根をあわせて展示し、当時の建物のイメージ化を計った。

また、西区大原D遺跡の縄文時代草創期集落の記者発表・現地説明会をうけて速報展示を実施した。竪穴住居4軒・石組炉3基等の写真パネルと細石器・石鏃・局部磨製石斧・スクレーパー等の石器、条痕文・無文の縄文土器、住居内検出の石鏃デポのレプリカを展示し解説した。

#### 第2展示室

市域内から発掘調査によって出土した旧石器時代～江戸時代までの遺物を時代順に並べ、各時代を代表する土器や特徴的な石器・土製品によって、その移り変わりがわかるように展示している。

## (2) 講座・展示会

### 講座

本年度は、「史跡を生かした街づくり」と題して5回の講座を開催した。本市域は大陸との玄関口としての立地から全国的にも重要な遺跡が多く、これまでに発掘調査された1,300箇所を越える遺跡のうち板付遺跡や鴻臚館跡など、史跡として指定され整備・公開している遺跡が多くある。その史跡が、私たちの暮らしと共に街づくりの中にどのように位置づけられ、整備されていくのかを、発掘および整備を担当した調査員から報告をいただいた。

発掘調査速報シリーズは、本年度に発掘調査が行われた遺跡のうち、重要と思われるものについて速報講演を実施しているもので、今回は年度末にまとめて1回の講演を行った。

展示と同様に、改造工事の実施のため6月から12月まで講座室が使用不能となり、講座の開催は変則的になっている。

### 展示会

東市民センター、博多駅地下コンコース、福岡市交通局藤崎駅、環境局西部埋立場事務所、市内小学校8校などの公共施設、民間ビルや養護施設等にも市内出土品展示コーナーを設置している。

## (3) 資料の提供

市民・小中学校・各種博物館・大学などの研究機関・出版社・報道関係などの利用希望に対して、考古資料や記録資料を提供している。資料利用は大きく館内利用と館外利用（貸出）に分けられる。

館内利用件数は287件で、その内訳は考古資料の閲覧・実測などが126件3,640点、記録類・図書の閲覧が154件846点である。

館外利用（貸出）件数は137件で、考古資料3,960点と記録類等498点の利用があった。利用内訳は、1年以上の長期貸出28件（市内文化財関係展示施設4件は除く）、博物館などの展示のための短期貸出109件である。また、それ以外に館内資料撮影等の機材利用が7件ある。

本年度は改造工事の影響で館外・館内利用ともに件数が前年の6割方に落ち込んでいる。

## (4) 図書の閲覧

1階図書コーナーに一般から小学生向けの歴史・考古学関係の図書約470冊を揃えている。この閲覧は自由である。また、3階図書室には歴史、考古学専門書や、調査報告書などの図書約33,000冊を揃えている。図書室の閲覧利用は150件あった。

なお、改造工事中、9月から12月3階図書室は閉鎖した。

## (5) 刊行物

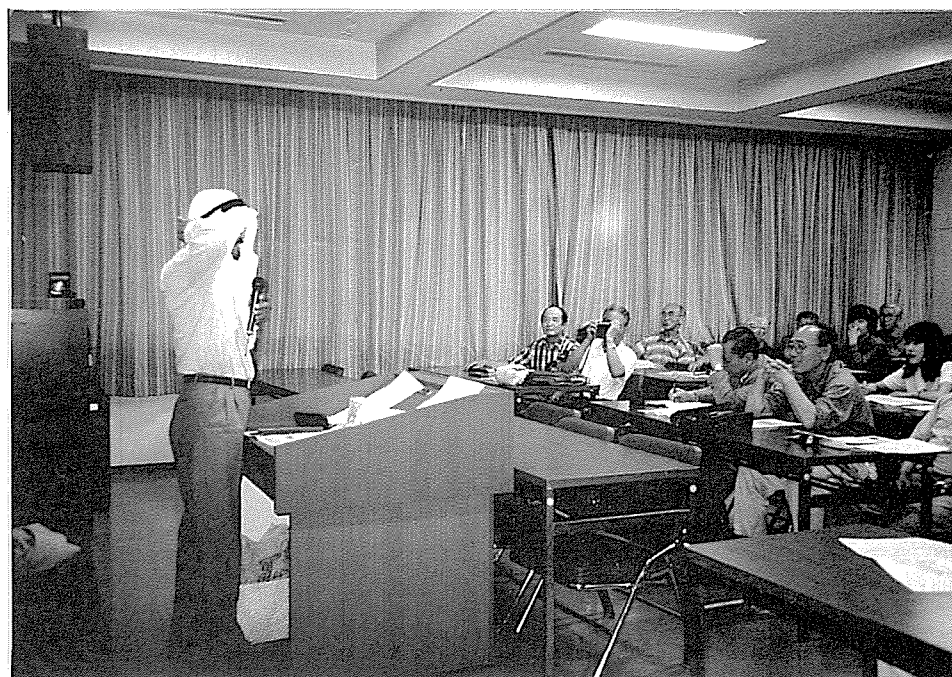
- 『福岡市埋蔵文化財センター年報』第17号 平成9（1997）年度 A4版24ページ。平成10年12月3日発行。文化財関係機関・図書館などに配布。
- 『見学のしおり』（展示案内パンフレット） B5版変形4つ折り8ページ。入館者に無料配布。

Tab.5 考古学講座「史跡を生かした街づくり」

回	年月日	講演内容	講師	受講数
1	H10.5.16	鴻臚館物語 －調査の現状と将来構想－	埋蔵文化財課 田中壽夫氏	82人
2	H10.5.23	エジプト・ラーヤ遺跡の調査 －鴻臚館と中国陶磁の道－	大規模事業等担当課 吉留秀敏氏	83人
3	H11.1.23	福岡城物語 －史実から見たお城の復元－	文化財整備課 三木隆行氏	62人
4	H11.2.20	元寇物語 －調査成果と防塁の復元－	文化財部 柳田純孝氏	77人

Tab.6 発掘調査速報シリーズ

回	年月日	講演内容	講師	受講数
1	H11.3.13	平成10年度遺跡調査総めぐり －市域内の調査から－	埋蔵文化財課 山口譲治氏他	82人



Pho.4 講座風景

Tab.7 平成10年度資料貸出等一覧表

登録番号	受付月日	申請者	資料区分	資料名	点数	遺物	写真	貸出日
98-B01	980402	市立博物館	写真	福岡城26・23次	4	0	4	980402
98-001	980327	小都市教育委員会	写真	吉武副葬品・全景・3号木棺	4	0	4	980404
98-002	980404	市立市川考古博物館	遺物	西新町甕棺	1	1	0	980401
98-003	980404	明野村教育委員会	撮影許可	板付土器・石器				
98-004	980404	山川出版社	写真	金隈・元寇防塁遺構	2	0	2	980408
98-005	980404	三苦小学校	遺物・写真	三苦	72	69	3	980401
98-006	980411	学習研究社	写真	名島城石垣	1	0	1	980415
98-007	980411	愛媛県歴史文化博物館	撮影許可	海の中道製塩土器・漁撈具				
98-008	980415	利用運送振興会	写真	金隈貝輪	1	0	1	980416
98-009	980415	福岡市博物館	遺物	縄文後晩期	130	130	0	980422
98-B01	980418	埋蔵文化財課	遺物	博多出土国産陶器	11	11	0	980418
98-B01	980421	埋蔵文化財課	写真	板付・金隈・雀居・吉武他	20	0	20	980421
98-010	980414	東北歴史資料館	遺物	有田7次丹塗壺	1	1	0	980401
98-011	980421	NTTメディアスコープ	写真	四箇土器・全景	3	0	3	980428
98-012	980422	愛媛県歴史文化博物館	遺物	海の中道	19	19	0	980703
98-013	980430	那珂整理室 森本朝子	遺物	博多朝鮮陶磁	114	114	0	980501
98-014	980430	山川出版社	撮影許可	板付1式土器一括				
98-B01	980509	埋蔵文化財課	遺物	東入部10次唐三彩・堅粕5次緑釉	2	2	0	980509
98-015	980415	朝日鏡八幡製鉄所	写真	比惠51次鉄斧	4	0	4	980509
98-016	980415	朝日鏡八幡製鉄所	遺物・写真	比惠51次鉄斧	2	2	0	
98-017	980325	群馬県立歴史博物館	遺物	藤崎50号甕棺	2	2	0	980401
98-018	980512	株式会社美術出版	写真	城ノ原丹塗壺	1	0	1	980515
98-019	980514	小郡教育委員会	遺物・写真	博多・井相田人面関係遺物	24	7	17	980528
98-020	980515	小学館	写真	板付土器・環濠・八田鋳型・吉武3号木棺他	6	0	6	980515
98-021	980519	ピーアンドシー	写真	板付足跡・環濠・土器	5	0	5	980519
98-022	980515	熊本市史編纂課	写真	元寇防塁・砥固頭骨・櫛田神社	3	0	3	980515
98-B01	980522	市立博物館	写真	多々良込田水注	1	0	1	980522
98-023	980519	博多区役所振興課	遺物・写真	博多遺跡群	44	32	12	980401
98-024	980522	八雲立つ資料館	使用許可	雀居甕				
98-B01	980526	埋蔵文化財課	遺物	比惠50次出土土器	3	9	0	980526
98-025	980527	株式会社美術出版	写真	藤崎板1壺	2	0	2	980529
98-026	980529	東市民センター	遺物	三苦・蒲田他	91	91	0	980401
98-B01	980530	埋蔵文化財課	遺物	那珂・比惠・博多・西新出土庄内式土器	37	37	0	980530
98-027	980530	愛知県陶磁資料館	遺物・写真	東入部唐三彩・堅粕緑釉	3	2	1	980609
98-028	980604	高麗美術館	撮影許可	博多高麗青磁				
98-029	980610	博多区まちづくり企画推進課	写真	金印	2	0	2	980610
98-B01	980610	埋蔵文化財センター	写真	今山・駒崎古墳	7	0	7	980610
98-B01	980618	埋蔵文化財課	写真	「山陰地方における弥生墳丘墓の研究」	1	0	1	980617
98-030	980611	輸入ポアアオブワンダー	撮影許可	博多29次白地鉄絵壺・明青花壺				
98-031	980622	立命館大学村上昇	撮影許可	柏原・大原D編文草創期土器				
98-032	980603	大阪市立博物館	写真	比惠・那珂・雀居木器	6	0	6	980624
98-033	980619	青森郷土館・国立歴史民博	遺物・写真	博多・田村	51	41	10	980624
98-034	980622	新人物往来社	写真	吉武高木全景・3号木棺・比惠8次全景	4	0	4	980625
98-035	980622	利用運送振興会	撮影許可	金隈貝輪				
98-036	980623	下関考古博物館	写真	板付夜白式丹塗壺	2	0	2	980630
98-037	980630	大阪市立博物館	遺物	比惠・那珂・雀居木器	4	4	0	980908
98-038	980701	古賀市立歴史資料館	遺物・写真	多々良込田越磁・灰釉・石帯・長沙窯・全景	8	5	3	980703
98-039	980630	春日市教育委員会	遺物	板付・比惠他丹塗土器	10	10	0	981126
98-040	980707	浜島書店	写真	捨六町ツイジ又鋳	1	0	1	980708
98-041	980709	福岡市埋蔵文化財課	遺物	羽根戸古墳群N群須恵器	10	10	0	980716
98-042	980626	福岡市博物館	遺物	藤崎・比惠他甕棺	121	121	0	980627
98-043	980711	鈴鹿市考古博物館	写真	吉武高木鹿線刻甕棺	2	0	2	980714
98-044	980720	福岡市埋蔵文化財課	写真	鴻臚館・博多	8	0	8	980720
98-045	980720	大阪府弥生文化博物館	遺物・写真	吉武高木・東入部他装身具	562	550	12	980728
98-046	980720	大阪府弥生文化博物館	撮影許可	宝満尾ガラス・比惠36次銀環				
98-B01	980721	埋蔵文化財課	写真	楚墓甕棺	1	0	1	980721
98-047	980730	テレビ西日本制作部	撮影許可	有田銅弔網布				
98-048	980729	海鳥社	撮影許可	博多墨書陶磁				
98-049	980724	淡交社	撮影許可	城ノ原丹塗壺				
98-B01	980724	埋蔵文化財課	遺物	有田墨書土器・陶硯	4	4	0	980724
98-050	980811	経振局観光コンベンション課	撮影・撮影許可	センター内施設				
98-051	980813	国立歴史民俗博物館	複製制作許可	海の中道製塩土器				
98-B01	980818	市立博物館	写真	吉武燧燧・金隈	5	0	5	980818
98-052	980819	畿地城情報センター	写真	那珂君休・博多他遺跡全景	6	0	6	980825
98-053	980825	國學院大學大学院中川和昭	撮影許可	吉武高木・大石・西新他石剣・銅剣				
98-054	980825	國學院大學大学院中川和昭	撮影許可	吉武高木・大石・西新他石剣・銅剣				
98-055	980826	西南学院大学鐘ヶ江賢二	遺物・写真	那珂・比惠弥生土器片	128	128	0	980829
98-056	980819	鶴屋水社	写真	今山・吉武高木・板付遺跡全景	3	0	3	980828
98-057	980826	宗像市教育委員会	遺物・写真・ケース	博多	54	50	4	981208
98-058	980825	株式会社Imidasu編集部	写真	元寇防塁	0	0	0	980901
98-059	980829	神戸市教育委員会	遺物	有田64次甕棺	3	3	0	980401
98-060	980902	(社)福岡県建設協会	写真	センター外観	1	0	1	980908
98-61	980902	甘木歴史資料館	写真	雀居4次 案	1	0	1	980908
98-62	980904	福岡市立博物館	写真	吉武高木・金隈他	24	0	24	980908
98-63	980905	福岡市立博物館	写真	吉武高木・金隈他	26	1	25	980909
98-B01	980911	大規模事業等担当課	遺物	野多目祐護(ドンク)	1	1	0	980911
98-64	980908	映像プロダクション	写真	板付・比惠弥生土器	3	0	3	980922
98-65	980917	(財)元興寺文化財研究所	遺物	比惠40・42・51次鋳造関係	6	6	0	980929
98-66	980916	朝日NHKエデュケーション	写真	駒崎古墳石室	2	0	2	980923
98-67	980926	朝日NHKエデュケーション九州支社	遺物	比惠25次土器	3	3	0	980401
98-68	980926	西南学院大学	遺物	羽根戸原C遺跡群土器	20	20	0	980401
98-69	980928	板付北小学校	遺物	板付6次・諸岡B3次	10	10	0	980401
98-70	980929	鶴屋水社福岡年金ホーム	遺物	唐ノ原土器	6	6	0	980401
98-71	980929	野多目小学校	遺物	野多目遺跡土器他	64	64	0	980401
98-72	980930	名島小学校	遺物	蒲田・海の中道・戸原妻尾他	28	28	0	980401
98-73	980929	板付小学校	遺物	板付	15	15	0	980401
98-74	981003	賀茂小学校	遺物	鶴町	36	36	0	980401
98-75	981002	文化財整備課	遺物	金隈・野方	174	174	0	980401

登録番号	受付月日	申請者	資料区分	資料名	点数	遺物	写真	貸出日
98-B01	981001	文化財整備課	遺物	板付足型	1	1	0	981001
98-76	981013	正築建築株式会社 文化財部	写真	蒙古襲来絵詞	2	0	2	981013
98-77	981014	山鹿市立博物館	遺物	西新町2次・4次他山陰系弥生土器	8	8	0	981024
98-78	981015	環境局西部埋立管理事務所	遺物	大原D	16	16	0	980401
98-79	981020	鞆風人社	写真	吉武高木3号木棺副葬品	1	0	1	981022
98-80	981022	福岡市立博物館	遺物	比恵6次銅剣・東入部金属器	8	8	0	981019
98-81	981022	東箱崎小学校	遺物	箱崎・板付・野多目	7	7	0	980401
98-82	981023	馬出小学校	遺物	箱崎馬出土器	6	6	0	980401
98-83	981023	中央公論社	写真	クエノノ5号墳サザエ供献須恵器	1	0	1	981031
98-84	981022	加曾利貝塚博物館	写真・パネル	博多調査区・遺構・一括遺物	7	0	7	981028
98-85	981027	榎至文堂	撮影許可	戸原麦尾・双鳳柄鏡				
98-86	981028	榎大巧社	撮影許可	吉武高木3号木棺副葬品				
98-87	981028	韓国 西江大学 金榮徳	写真・撮影許可	板付足跡モノク写真	3	0	3	981028
98-88	981102	榎あかね書房	写真	板付足跡・現況遠景他	5	0	5	981104
98-89	981111	九州歴史資料館	遺物	東入部副葬品・井相田供養品・赤穂ヶ浦鋳型	25	25	0	981202
98-90	981112	放送大学学園	撮影許可	金隈展示館展示資料				
98-91	981112	放送大学学園	撮影許可	金隈展示館展示資料(貝輪)				
98-92	981118	榎東放制作	写真	板付水田・炭化米	2	0	2	981120
98-93	981119	大分市教育委員会	遺物	博多64次・築港5次天目茶碗・茶入	3	3	0	981124
98-94	981124	福岡市博物館	遺物	福岡城月見燈・26次・32次	30	30	0	981215
98-95	981130	放送大学学園	写真	金隈遺跡103号壺棺	1	0	1	981130
98-96	981127	安土城考古博物館	使用許可	雀居5次短甲レブリカ				
98-97	981127	安土城考古博物館	遺物・写真	雀居5次木製盾	4	2	2	990414
98-98	981203	福岡市博物館	遺物・写真	博多銅鏡・銭鋳型他	100	97	3	981215
98-99	981210	福岡大学 西山めぐみ	使用許可	大牟田古墳群・堤ヶ浦古墳群他耳環				
98-100	981212	榎小学館	写真	吉武高木3号木棺・大型建物	2	0	2	981217
98-B01	981212	大規模事業担当課	写真	那珂23次・比恵31次・福岡平野全景	3	0	3	981212
98-B01	981215	埋蔵文化財課	写真	博多68次・清末2次他	11	0	11	981215
98-101	981221	石川県埋蔵文化財センター	撮影許可	板付・雀居・他夜白式土器				
98-102	981221	安城市歴史博物館	使用許可	板付丹塗大壺				
98-103	981222	朝日新聞社出版局書籍編集部	写真	カルメル修道院内銅鏡	1	0	1	981224
98-104	981222	ハイビジョンミュージアム推進協議会	写真	吉武高木・吉武樋渡全景他	4	0	4	981225
98-B01	981222	埋蔵文化財センター	写真	比恵・那珂・博多他	94	0	94	981222
98-B01	981227	埋蔵文化財課	遺物	石丸古川B・田村10次・有田62次	199	199	0	981227
98-105	981228	山川出版社	写真	博多店屋町工区出土頭骨群	1	0	1	990105
98-106	990105	マイクロソフト社	写真	吉武高木副葬品一括	1	0	1	990106
98-107	990105	マイクロソフト社	撮影許可	吉武高木副葬品一括				
98-108	990112	片岡宏二	撮影許可	飯倉D・井尻B鋳型				
98-109	990114	ゆアート・エフ	写真	板付水田	1	0	1	990115
98-110	990114	森本朝子	撮影許可	博多14次白磁溜まり				
98-111	990113	(財)放送大学教育委員会	写真	板付水田・堰	1	0	1	990114
98-112	990114	国立歴史民俗博物館	遺物・写真	小孫・吉武絵画土器・金隈貝輪	9	3	6	990119
98-113	990119	ハイビジョンミュージアム推進協議会	使用許可	吉武高木副葬品類				
98-114	990119	朝NHKエディケーショナル	写真	吉武高木3号木棺	2	0	2	990121
98-115	990119	朝NHKエディケーショナル	使用許可	吉武高木3号木棺				
98-116	990120	大阪府立弥生文化博物館	撮影許可	板付小銅剣・比恵銅剣他				990409
98-117	990120	大阪府立弥生文化博物館	遺物・写真	雀居短甲・福岡無文土器他	31	17	14	990127
98-B01	990127	埋蔵文化財課	写真	吉武6次	7	0	7	990127
98-B01	990127	埋蔵文化財センター	写真	金隈・原山	6	0	6	990127
98-118	990128	朝NHKエディケーショナル	写真	板付井堰	1	0	1	990131
98-119	990128	朝NHKエディケーショナル	使用許可	板付井堰				
98-120	990128	朝ブランデット	写真	金隈全景	1	0	1	990131
98-121	990129	大阪府立弥生文化博物館	写真	吉武高木3号木棺蓋・多紐細文鏡	2	0	2	990131
98-122	990126	福岡市博物館	遺物・写真	雀居木器・土器他	56	45	11	990130
98-123	990208	朝NHKエディケーショナル	使用許可	板付I式壺				
98-124	990210	榎小学館	写真	板付I式期水田	1	0	1	990216
98-125	990210	雄山閣出版株式会社	写真	雀居・板付出土土器	8	0	8	990216
98-126	990218	立命館大学助教授 木立雅朗	撮影許可	比恵刷毛目原土・宮ノ前土製当て具				
98-127	990218	榎東京美術	使用許可	今山石斧・井尻B・比恵鋳型				
98-128	990219	入澤企画制作事務所	写真	城ノ原丹塗磨研壺	1	0	1	9902**
98-129	990220	NHK福岡放送局	撮影許可	玄界島出土陶磁器・蒙古襲来絵詞				
98-130	990220	榎英社学芸編集部	撮影許可	板付縄文水田				
98-131	990223	京都大学大学院 岩本崇	撮影許可	那珂八幡・藤崎三角縁神歌鏡				
98-B01	990225	大規模事業等担当課	写真	板付・金隈・湖鏡館・雀居・野方	14	0	14	990225
98-B01	990302	市立博物館	写真・図面	下山門敷町	5	0	3	990302
98-132	990302	南区まちづくり企画推進課	写真	中村町全景	3	0	3	990302
98-133	990302	山村信榮	撮影許可	雀居5次・比恵25次他石鏡				990302
98-134	990303	福岡市博物館	遺物	城ノ原・板付他	1369	1369	0	990401
98-135	990303	榎東洋書林	写真	吉武高木3号木棺蓋副葬品	1	0	1	990225
98-B01	990305	文化財整備課	写真	有田177次前漢鏡・仿製鏡・井尻B鋳型他	10	0	10	990305
98-136	990306	菊池市教育委員会	遺物	博多陶磁器・銅鏡	150	150	0	990401
98-137	990305	上田健太郎(大阪大院生)	撮影許可	雀居・比恵・板付他磨製石器				
98-138	990306	榎新潮社	写真	板付I式壺	1	0	1	990309
98-139	990306	榎学宝社	写真	板付石包丁	1	0	1	990309
98-140	990306	ゆキヤロット企画	写真	板付・野方全景他	10	0	10	990309
98-141	991008	加曾利貝塚博物館	複製許可	博多陶磁器出土状況他				
98-142	990306	榎マガジントップ	写真	板付水田・環壕他	5	0	5	990308
98-143	990311	榎学習研究社	掲載許可	板付石包丁				
98-B01	990312	埋蔵文化財センター	写真	板付・今宿五郎江	6	0	6	990312
98-144	990316	広島県歴史博物館	遺物	博多青磁・墨書陶磁	6	6	0	990401
98-145	990304	東北学院大学 佐川正敏	撮影許可	博多中世軒瓦				
98-146	990315	ゆ企画宣伝室	写真	博多29次埋立・68次護岸	2	0	2	990315
98-147	990323	(財)西日本文化協会	写真	博多78次全景・60次遺物・40次陶磁一括	4	0	4	990324
98-148	990323	国立歴史民俗博物館	遺物	板付・有田・三筑	25	25	0	990401
98-149	990323	市川考古博物館	遺物	西新町	2	2	0	990401
98-150	990325	文化財整備課	遺物	金隈・板付・野方	174	174	0	990401
98-151	990325	文化財整備課	写真	吉武高木・金隈・丸隈山他	8	0	8	990324
98-152	990330	総合整備保障九州事業部	遺物	比恵43次SE74出土弥生土器	3	3	0	990401
98-153	990325	新宮町教育委員会	遺物	石丸古川・飯氏ノウサ出土土器	3	3	0	990401
98-154	990324	山口市歴史民俗資料館	遺物・写真	博多60次・42次・40次他	106	104	2	990402
合計					4624	4122	499	

Tab.8 入館者総数一覧表

区分		4月 26	5月 26	6月 26	7月 27	8月 26	9月 26	10月 27	11月 25	12月 23	1月 23	2月 25	3月 27	合計(人) 307	比率(%)	
個人	一般	男	188	220	243	321	216	139	158	152	83	0	0	0	1,720	52.5%
		女	97	83	86	158	115	84	47	56	58	0	0	0	784	23.9%
		小計	285	303	329	479	331	223	205	208	141	0	0	0	2,504	76.4%
	学生	小学生	21	19	12	24	36	6	4	3	2	0	0	0	127	3.9%
		中学生	9	5	4	10	15	10	0	2	2	0	0	0	57	1.7%
		高校生	3	1	4	3	5	1	4	1	1	0	0	0	23	0.7%
		大学生	20	12	22	72	161	92	47	44	57	0	0	0	527	16.1%
		その他	6	11	2	5	2	4	3	6	0	0	0	0	39	1.2%
		小計	59	48	44	114	219	113	58	56	62	0	0	0	773	23.6%
	合計(a)	344	351	373	593	550	336	263	264	203	0	0	0	3,277	100.0%	
	団体	一般	242	366	265	240	204	150	302	323	133	0	0	0	2,225	58.4%
		(団体数)	4	6	11	9	6	5	9	9	5	0	0	0	64	
		小学生	155	357	229	0	29	195	33	0	0	0	0	0	998	26.2%
(団体数)		2	4	4	0	0	3	1	0	0	0	0	0	14		
中学生		0	18	0	6	0	0	0	230	0	0	0	0	254	6.7%	
(団体数)		0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2		
高校生		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
(団体数)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
大学生		17	117	90	0	0	6	15	15	71	0	0	0	331	8.7%	
(団体数)		1	1	1	0	0	1	1	1	2	0	0	0	8		
合計(b)		414	858	584	246	233	351	350	568	204	0	0	0	3,808	100.0%	
(団体数計)		7	12	16	9	6	9	11	11	7	0	0	0	88		
総計(a+b)		758	1,209	957	839	783	687	613	832	407	0	0	0	7,085		

Tab.9 個人入館者年齢区分一覧表

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
0~19才	44	33	21	44	61	25	11	12	5	0	0	0	256	7.8%
20~29才	52	74	84	144	227	118	84	90	88	0	0	0	961	29.3%
30~39才	49	75	77	108	67	56	45	37	23	0	0	0	537	16.4%
40~49才	74	68	101	119	84	54	55	57	33	0	0	0	645	19.7%
50~59才	56	69	59	78	64	44	42	41	37	0	0	0	490	15.0%
60~69才	47	21	24	76	40	29	22	21	13	0	0	0	293	8.9%
70~79才	20	8	6	24	7	9	3	4	4	0	0	0	85	2.6%
80才以上	2	3	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0	10	0.3%
計	344	351	373	593	550	336	263	264	203	0	0	0	3,277	100.0%

Tab.10 個人入館者住所区分一覧表

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
福岡市	225	184	220	428	398	210	167	147	112	0	0	0	2,091	63%
福岡県内	74	97	78	74	51	35	43	44	33	0	0	0	529	16%
県外	41	65	70	88	101	91	52	68	54	0	0	0	630	19%
国外	4	5	5	3	0	0	1	5	4	0	0	0	27	0.0%
計	344	351	373	593	550	336	263	264	203	0	0	0	3,277	100.0%

(6) 博物館実習

一本年度は博物館実習期間が改修工事期間と重なったため実施をみおくれた。

(7) 図書関係(1998.4.1~1999.3.31)

《平成10年度図書受入れ状況》 購入 313冊(一般95冊、雑誌218冊)・受贈 1868冊(一般1785冊、雑誌83冊)  
計 2181冊(一般1880冊、雑誌301冊)

《平成10年度末蔵書数》 受贈25735冊・購入 7156冊=32891冊 ※総入力件数は、新規受入れ、遡上データを合わせて23937冊となる。

○ 定期受入れ雑誌は、一部受贈を含めて以下の39種である。

(国内発行) URC資料季報・貝塚・九州文化史研究所紀要・季刊考古学・月刊考古学ジャーナル・月刊文化財発掘情報・考古学雑誌・考古学研究・考古学論叢・鴻都  
・日本研究・信濃・古代を考える・古代学研究・古代学研究所研究紀要・古代学評論・古文化論叢・都府楼・日本考古学年報・CSN西日本文化・博物館研究  
・博古研究・東洋の古代文化・ふるさとの歴史と自然・物質文化・文化庁月報・Museum Kyushu

(国外発行) 韓国上古史学報・百濟研究・朝鮮考古研究・韓国考古学報、考古学報・考古・考古与文物・故宮博物院院刊・四川文物・中原文物・農業考古・文物

平成10(1998)年度当初予算

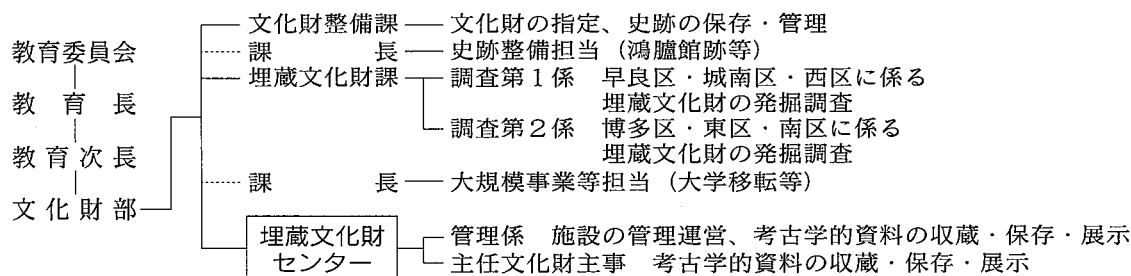
歳入 (単位:千円)		
事項	金額	摘要
国庫支出金	106,000	センター増築改造及び
県支出金	333	遺物保存処理事業補助金
諸収入	37	雇用保険料収入など
市債	908,000	センター増築改造に伴う件
合計	1,518,865	

歳出 (単位:千円)		
事項	金額	摘要
管理運営費	37,640	一般管理費、施設管理費
事業費	14,939	調査研究費、資料保存整理費、教育普及活動費 出土遺物保存処理費、資料整理収蔵費
施設整備費	1,466,286	埋蔵文化財センター増築改造事業
合計	1,518,865	

## II 埋蔵文化財センターの概要

### 構成と職員

#### (1) 福岡市埋蔵文化財行政の組織



#### (2) 埋蔵文化財センターの職員（10年度）

職名	氏名	摘要	職名	氏名	摘要
所長	折尾 学	技術吏員	文化財主事	加藤 良彦	技術吏員
管理係長	村上 敏文	事務吏員	文化財主事	比佐 陽一郎	技術吏員
主任文化財主事	横山 邦継	技術吏員			

### 福岡市埋蔵文化財センター条例

（昭和56年12月21日  
条例第66条）

#### (設置)

第1条 発掘調査等で出土した考古学的資料(以下「資料」という。)の保存と活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、福岡市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)を福岡市博多区井相田2丁目に設置する。

#### (事業)

第2条 センターは、次の各号に掲げる事業を行なう。

- (1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 資料を展示し、公開すること。
- (3) 資料の専門的調査研究を行うこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの設置の目的達成に必要なこと。

#### (職員)

第3条 センターに所長その他必要な職員を置く。

#### (入館の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、入館を拒み、又は退去を命ずることができる。

- (1) センターの管理上必要な指示又は指導に従わない者
- (2) センターの管理上支障があると認められる者

#### (資料の貸出し)

第5条 教育、学術若しくは文化に関する機関若しくは団体又は学術研究のため特に資料を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けて資料の貸出しを受けることができる。

2 前項の貸出しは、資料の保管について安全が確保できると認められる場合に限り行なうものとする。

#### (損害賠償)

第6条 資料の観覧者又は貸出しを受けた者が、その責めに帰すべき理由によりセンターの建物若しくは施設又は資料を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これらを現状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

#### (委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、センターの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

#### 附 則

この条例は、交布の日から起算して3月を越えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

（昭和57年規則第3号により  
昭和57年2月22日から施行）



改正 昭和61年一教規則2、平成4一教規則7、  
平成4一教規則3

(趣旨)

第1条 この規則は、福岡市埋蔵文化財センター条例(昭和56年福岡市条例第66号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 福岡市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)の事業を行なうため、センターに管理係を置く。

(職員)

第3条 センターに所長、係長、吏員その他の職員を置く。

2 前項の職員のほか、特定事務を担当させるため、センターに主任文化財主事及び文化財主事を置くことができる。

3 所長、係長、主任文化財主事及び文化財主事は、吏員のうちから命ずる。

4 係長又は主任文化財主事のうちから統括係長を命ずることができる。

5 所長及び係長は、上司の命を受けてセンター又は系の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

6 主任文化財主事及び文化財主事は、上司の命を受けて担当事務を処理する。

(職務権限の代行)

第4条 所長に事故がある場合、又は所長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、係長がその係に属する事務について所長の職務権限を代理して行なう。ただし、重要又は異例な事務については、文化財部長の指揮を受けなければならない。

2 前項の規定により所長の職務権限を代理して行なう者がいないときは、文化財部長が行なう。

(会館時間)

第5条 センターの会館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育長は、必

要があると認める場合は、これを変更することができる。

(休館日)

第6条 センターの休館日は次のとおりとする。ただし、教育長は、必要と認める場合には、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

- (1) 毎週月曜日
- (2) 12月28日から翌年1月4日まで

(入館者の心得)

第7条 センターに入館する者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 所定の場所以外の場所で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (3) 危険物又は動物を持ち込まないこと。
- (4) 所定の場所以外に立ち入らないこと。
- (5) 職員が行なう管理上必要な指示又は指導に従うこと。

(貸出)

第8条 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しを受けようとする者は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可申請書(様式第1号)を教育長に提出しなければならない。

(寄贈等)

第9条 センターに資料を寄贈し、又は寄託しようとする者は、教育委員長に申し出なければならない。

2 寄託を受けた資料の貸出しは、寄託者の承諾を得て行なうものとする。

(委任)

第10条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和57年2月22日から施行する。

### Ⅲ 施設の増築・改造工事概要

〔経過〕 昭和57年2月に開館した当センターは、途中昭和62年4月に収蔵庫の増築(1,994㎡増加)を行った。そして更に15年を経過する平成8年度末には一般収蔵庫の収蔵能力が限界となることが明らかとなった為、施設の増築・改造が必要となった。

増築・改造の設計及び工事の施工は、以下のように進められた。

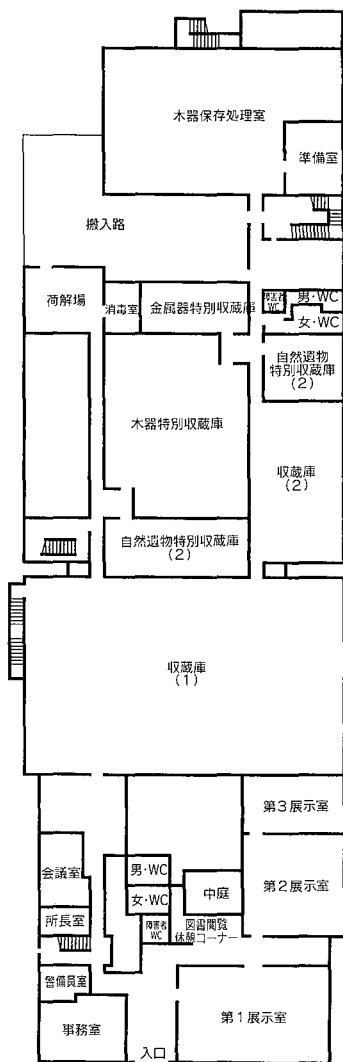
- ① 基本設計－平成7年度、② 実施設計－平成8年度、③ 着工－平成9年6月19日、④ 竣工－平成10年12月、⑤ 開館準備－平成10年10月～平成11年3月、⑥ オープン－平成11年4月1日

また、施設の拡充の結果、規模は従前のほぼ2倍となった。

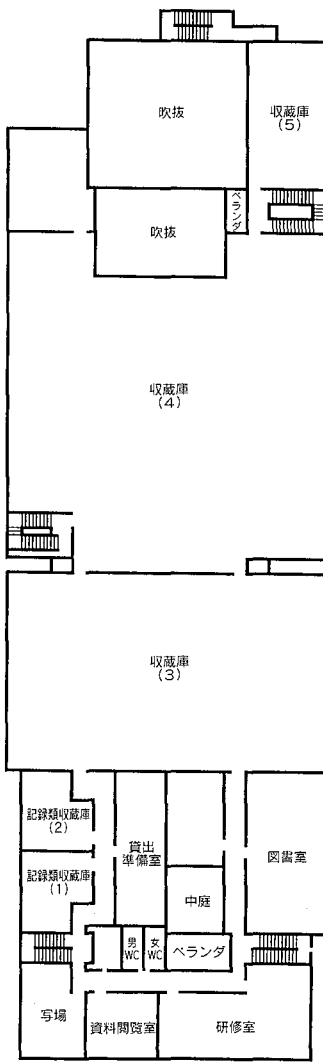
- ① 敷地面積－7,481.79㎡(3,481.79㎡の増)、② 延床面積－10,713.6㎡(内、収蔵庫4,893㎡・教育普及819㎡・保存処理736㎡・資料整理335㎡)

なお、事業費は、約24億9千万円(建設費 17億5,600万円・用地費 7億3,400万円)である。

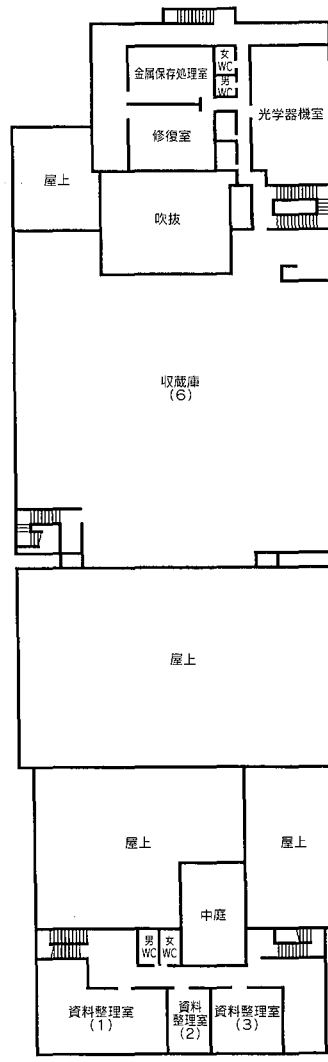
Fig.3 施設平面図



〔1階〕



〔2階〕



〔3階〕

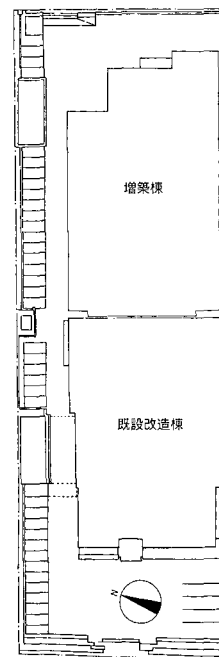


Fig.2 平面概念図

Tab.11 埋蔵文化財センター増築・改造面積比較表(平成11年3月26日現在)

区 分	室 名	床 面 積(m <sup>2</sup> )			備 考
		増改築後	増改築前	増 減	
教育普及施設	展 示	第1展示室	167.00	167.00	—
		第2展示室	127.00	127.00	—
		第3展示室	61.00	—	61.00
		小 計	355.00	294.00	61.00
	研 修 図 書	研修室	140.00	140.00	—
		図書室・図書コーナー	181.00	116.00	65.00
		小 計	321.00	256.00	65.00
	資料貸出	貸出準備室	85.00	—	85.00
		資料閲覧室	58.00	—	58.00
		小 計	143.00	—	143.00
	計	819.00	550.00	269.00	
収蔵施設	収 蔵	収蔵庫	4,066.00	2,113.00	1,953.00
		特別収蔵庫	547.00	52.00	495.00
		記録類収蔵庫	192.00	85.00	107.00
		小 計	4,805.00	2,250.00	2,555.00
	搬 入	荷解・搬入室	65.00	144.00	△79.00
		消毒室	23.00	—	23.00
		小 計	88.00	144.00	△56.00
	計	4,893.00	2,394.00	2,499.00	
保存処理	木器保存処理	426.00	40.00	386.00	
	金属器保存処理	156.00	61.00	95.00	
	分析室	154.00	—	154.00	
	計	736.00	101.00	635.00	
資料整理	洗浄室	37.00	—	37.00	
	資料整理室	235.00	131.00	104.00	
	写場・暗室	63.00	63.00	—	
	計	335.00	194.00	141.00	
管 理	倉庫	58.00	—	58.00	
	事務・会議室等	140.00	66.00	74.00	
	警備・機械室等	258.00	138.00	120.00	
	通路・エレベーター等	1,434.00	543.00	891.00	
	計	1,890.00	747.00	1,143.00	
合 計		8,673.00	3,986.00	4,687.00	
その他	庇・トラックト等	505.60	269.74	235.86	
	既設収蔵庫2層部分	1,535.00	2,065.00	△530.00	
	計	2,040.60	2,334.74	△294.14	
総 合 計		10,713.60	6,320.74	4,392.86	

1. 増築工事 増築は、主に土器・石器といった一般遺物の収蔵庫・保存処理の完了した木器類を収納する特別収蔵庫などの収蔵施設を中心になされ、これらがその大半を占める。この他、木器保存処理室・金属器保存処理室及び処理前の遺物の分析機器を備えた光学機器室などの保存処理関連施設が大規模に充実され、資料貨物の搬入口及び木器保存処理室には作業の安全と効率化をはかるために天井部にホイストクレーンを付設した。

2. 改造工事 改造は、既設2Fの一般遺物収蔵庫などを中心に改造を加えて必要な部屋の確保を行った。これらは写真・図面資料などを保存する記録類収蔵庫(2室)や資料貸出準備室、図書室であるが、この他に研修室及び展示室の大幅な改造を行った。図書室はこれまで記録類収蔵庫と同室でスペースも狭隘であったが、単室を確保し、図書室とした。考古学講座を開催する研修室は、壁面の改造により収容人員数の増加が可能となり、映写・音響設備が充実した。また、展示室は、従来の2室に第3展示室(速報展示室兼ねる)を加え、更に展示室の内装を強化し常設展示を整えた。

## 収蔵施設

### 〈一般遺物収蔵庫〉

一般収蔵庫は、既設部分(収蔵庫(1・3))に加えて、増築部分の1F(収蔵庫(2))・2F(収蔵庫(4))・3F(収蔵庫(6))及び2F多目的室(収蔵庫(5))の6室となった。

このうち、今回増築部分(収蔵庫2・4・6)は、収蔵可能な容量が、平成11年度より起算して約15年間あり、コンテナの数量にして一般遺物約10万箱程度と設計されている。また、この増築部分の収蔵庫は、現在3F建てであるが、将来満杯となった場合には更に5Fに増築し、約15年間・10万箱の同容量を確保することとなる。

なお、今年度末現在で、一般遺物の収蔵量は、収蔵遺跡数704遺跡、登録遺物点数約38万点、コンテナ数は約60,000箱程度となる。

### 〈木器特別収蔵庫〉

特別収蔵庫は、PEG含浸処理などが終了した木製品を温度24度、湿度50%の環境に保ち、収蔵保管する収蔵庫である。床面積が547㎡あり、木製品は移動ラックや中量棚上に直置き或いはコンテナに入れて管理する。面積規模が大きいことから、点数の上でも長期間の収蔵が可能である。現在の収蔵数は、約8,000点で、日常什器や農具などの比較的小型のものが多く、これから建築材や遺跡でえられた各時期の自然流木や大型の資料の処理・収蔵が増加すると考えられる。

### 〈記録類収蔵庫〉

既設棟2Fの収蔵庫に改造工事を行い、2室を確保した。現在、本収蔵された706遺跡のうちの大半の遺跡台帳、スライドフィルム・ネガフィルムなど(35mm・中版・大版)の写真アルバム類等、調査現場の遺構実測図・土器実測図などの原図類および仮収蔵された同資料を収蔵保管している。いずれも室温24度で保たれる。

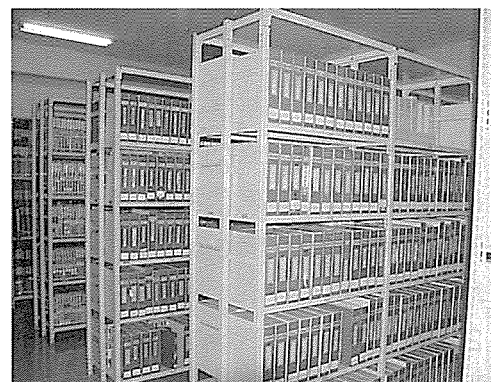
現在の収蔵数は、写真類約389千点、原図類76千点、カード類224千点を数える。これらは一般遺物とともに『収蔵要項』によって処置されており、資料の貸出は漸次増加傾向にある。

Tab.12 収蔵庫内訳

名称	階数	床面積(㎡)	備考
収蔵庫(1)	1階	836.5	既設棟
収蔵庫(2)	1階	237	増築棟
収蔵庫(3)	2階	836.5	既設棟
収蔵庫(4)	2階	1,078	増築棟
収蔵庫(5)	2階	135	増築棟
収蔵庫(6)	3階	1,078	増築棟
		4,201㎡	



Pho.5 木器特別収蔵庫



Pho.6 記録類収蔵庫

## 保存処理施設

保存処理施設についても大幅な増築・改造が行われた。旧施設では、全国に先駆けた保存処理設備を有し、成果を上げてきたが、近來からの保存処理技術向上や、処理遺物の多様化・増加によって不十分な点が露呈し、何より医療で言えば診察にあたる保存処理事前調査機器の不足が大きな問題となっていた。また作業環境についても、粉塵の出る装置と日常的な居室・精密機器が同居するなどの不備があり、その他にも木製品仮保管用水槽の設置環境や作業動線の問題、特別収蔵庫の容量不足といった問題があった。新施設では、これら問題点の解消を目的として設計を行い、それに際しては奈良国立文化財研究所をはじめ、奈良県立橿原考古学研究所・滋賀県立安土城考古博物館・長野県立歴史館・神戸市埋蔵文化財センター等、全国の先進的な保存処理施設を見学し、大いに参考とさせていただいた。

更に、設置する装置・備品類も、できる限り様々な処理に対応できるよう考慮した。

有機物の処理装置としては、PEG含浸槽は、可能な限り大きな資料が処理できることを前提に長さ6mの槽を、また真空凍結乾燥機も大型の広葉樹材などが処理できるよう、国内最大規模の長さ3mの装置をそれぞれ選定した。

事前調査のための分析装置は、有機物・無機物の材質調査、微細構造や表面付着物の調査、腐食状態の調査、劣化状態及び構造の調査を行うための装置として、X線透過撮影装置、赤外分光光度計、走査型電子顕微鏡、蛍光X線分析装置、X線回折装置などを選定し、更に各装置のメーカー・機種を選定を行った。これら装置の機種選定にあたっては、以下の点を考慮した。

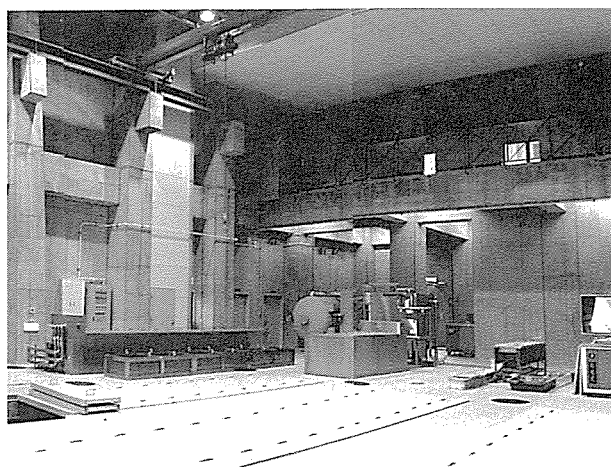
・文化財資料が工業、理化学分野の試料と異なり、不定形で様々な寸法のものがあることから、これらをできる限り破壊することなく調査できるよう、様々な形状、寸法に幅広く対応できる機種であること。

・文化財の分野での実績があること。

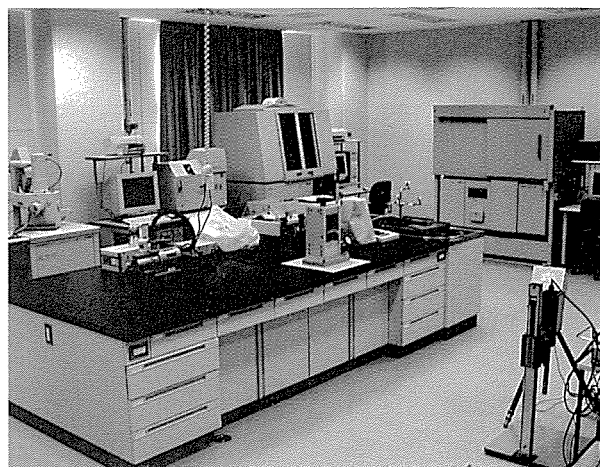
・取り扱いが簡単であること（パソコンの汎用OSで制御されている等）。

しかし、一装置について同等な仕様のもので複数メーカー有り、どうしても差が見いだせないものについては価格競争（見積合わせ）により選定した。

以上の結果、当初の計画がほぼ汲み入れられた、本格的な保存処理を行うのに十分な設備とすることができたと考える。今後、この施設を有効にできるだけ多くの文化財をより良い形で残せるよう、努力したい。



Pho.7 木器保存処理室



Pho.8 光学機器室

## 展示施設

### 第1展示室

埋蔵文化財の保護と保存をテーマに、市域で年間60件以上実施される発掘調査で出土する遺物と記録類が、発掘現場から当センターに収蔵され、いかに管理・活用されていくかの一連の流れを解説している。

「埋蔵文化財とは何か」・「埋蔵文化財の保存処理」・「埋蔵文化財の修復」・「発掘現場での保存科学的作業」・「埋蔵文化財の収蔵管理と活用」・「埋蔵文化財と考古学」・「旧石器・縄文時代の福岡」の項目でパネルと実資料を用いて常設展示をおこなっている。



Pho.9 第1展示室

### 第2展示室

ここでは、福岡市域が日本史のなかで最も脚光を浴びた『奴国の時代』の弥生時代那珂・比恵遺跡群と、国内最大の国際貿易港であった『中世都市博多』の博多遺跡群の2遺跡に焦点をあて、日本の玄関口であった本市域の特徴を強調したテーマで常設展示をおこなっている。

それぞれ「奴国の拠点集落那珂・比恵遺跡」・「奴国以前」・「大型建物」・「環濠・大溝・条溝」・「墳丘墓」・「交流と交易」・「争う」・「祭る」・「装う」・「つくる」・「まかなう」の項目、「日本の玄関・博多」・「匠」・「鴻臚館の時代」・「海外との交易」・「国内の交易」・「中世博多の情景」・「戦乱」・「たしなむ・あそぶ」の項目でパネルと遺物で解説した。



Pho.10 第2展示室

### 第3展示室

市域で最近実施された発掘調査のなかで特に重要とおもわれる遺跡の速報展示会や、通年で開催するセンター主催の考古学講座に合わせたテーマ展等、部門展示室として短期展示を実施するため整備された。



Pho.11 第3展示室

福岡市埋蔵文化センター年報  
第18号

平成12(2000)年3月15日

発行 福岡市教育委員会  
福岡市中央区天神1-8-1

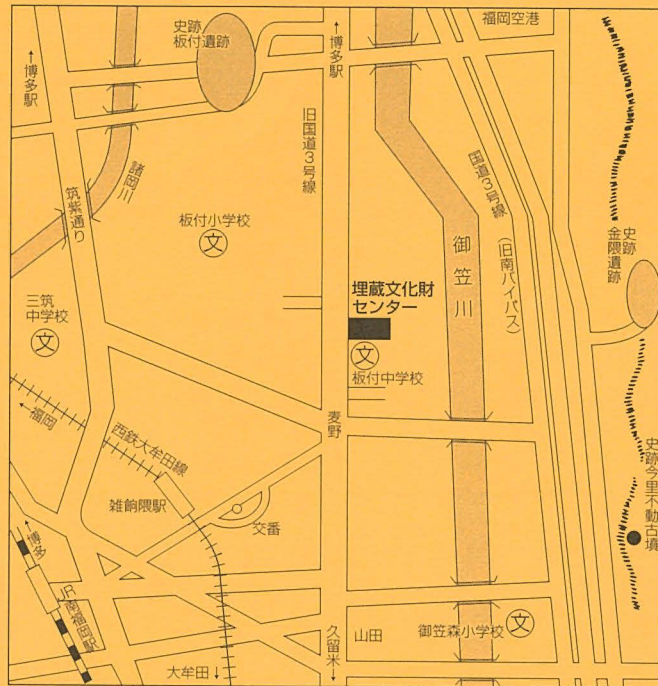
印刷 川辺印刷(有)  
福岡市南区高宮1-7-19

FUKUOKA CITY  
ARCHAEOLOGICAL CENTER

Annual Report

No.18

2000



所在地 〒816-0081 福岡市博多区井相田2-1-94

Tel. (092) 571-2921 · Fax. (092) 571-2825

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30分まで)

休館日 毎週月曜日・年末年始 (12月28日~1月4日)

入館料 無料 (但し、団体で見学される場合はあらかじめご連絡ください。)

交通

■西鉄大牟田線 雑餉隈駅から徒歩15分

■JR鹿児島本線 南福岡駅から徒歩25分

■西鉄バス (行先番号41番)

板付中学校前(埋蔵文化財センター前)下車